



# タウンサポーター



## 下都賀地区PTA指導者研修 I



6月30日(木)に下都賀地区PTA指導者研修 I を開催しました。特別非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長の生重 幸恵 氏を講師に迎え、「変動するこれからの教育～PTAの意義や役割～」を演題とした講演会を行いました。

講演では、これからの教育の方向性と共に、「できることを できる時に できるだけやる」といったPTA活動の心構え、「自分自身の視野を広げる」PTA活動の価値、「地域の連携の推進役」としての可能性など、講師の経験に裏付けされた様々な示唆をいただきました。

研修の感想には、「子どもに親の姿を見せるという認識を多くの大人が持ち、地域で子どもを育てていけるようになると良いと感じた。」等の思いが多く寄せられ、参加者の前向きな姿勢が光る研修となりました。



## 文化芸術による子供の育成事業 (巡回公演事業、芸術家の派遣事業) の紹介

今年度も文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」を管内の18校で実施しています。本事業は、小・中学生の豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うことを主目的として、一流の文化芸術団体による実演芸術の公演や、実技披露・実技指導等を行うものです。

本物に触れることができる貴重な機会ですので、今後も多くの子どもたちに体験してほしいと願っています。なお、平成29年度の募集は10～11月頃を予定しています。

○巡回公演事業の様子 (実施済み校)



栃木市立国府北小学校



下野市立緑小学校

## 地域をつなぐ ふれあい学習



### 今年の中中学生ボランティアはアツい!

野木町では、中学生ボランティアを募集して生涯学習の様々なイベントで活躍してもらう取り組みを昨年から始めました。

7月30・31日の1泊2日で開催された小学5年生対象のリーダー研修会では、中学生ボラン



ティアがジュニア・シニアリーダーズのメンバーと共に、前日に事前研修を行うなど、2泊3日のスケジュールで活動を行いました。来年、最高学年として小学生のリーダーになるための研修には大変苦労したと思

いますが、お兄さんお姉さんと慕われ、自分自身にとっても良い機会に、また、良い思い出になったのではないのでしょうか。この夏休みで一回り成長した中学生の皆さんが秋・冬のイベントでも活躍されることを願っています。



### 今日はザリガニをつかめた

下野市自然に親しむ会では、下野市立国分寺東小学校の生き物調査のお手伝いをしました。

この活動は、「身近な環境と一緒に住んでいる生き物を知り、住みやすい環境を考える」という課外活動計画に基づき、学校周辺で実施されました。

対象学年の3年生を5班に編成し、学校の学年主任・担任と地域連携教員の引率に加え、地元の環境保全会の方々とも協力して万全の体制で臨みました。調査では、採捕作業・同定作業・感想の発表を行い、楽しく有意義な時間を持つことができたことは良かったです。



今回は雨後のためか、水量が普段より多かったのですが、子どもたちは毎日学校の行き帰りに見ている用水路に多くの種類の生き物がいることに驚きを見せていたし、直接手に触れた経験とおして自信につながったことと思います。



### ハッピートークトレーニング®



7月26日(火)におやま市民大学

(渡良瀬遊水地・歴史) ボランティアガイド

養成コースの第1回目共通講座として、(株)クローバー(ハッピートーク®トレーナー)の柏木 聖子氏による「ハッピートークトレーニング®」を開催しました。受講生約60名が参加し、発声練習

から始まり、笑顔の練習、ハッピーワードを使ったグループワーク等を行いました。

今回の講座では、話し方ひとつで思考や行動が変わり、また「言葉の引出し」といった普段よく使う言葉、言いにくい言葉などが収まった引出しをうまく活用することで、マイナスからプラス思考になる言葉、コミュニケーションの重要性、笑顔の大切さを再認識しました。今後ガイドとして活動する上で、大変参考になる貴重な時間となりました。



### 県立高校等の取組を紹介します!

### 小山南高等学校 地域の方々に見守られて育つ小南生

小山南高校では、地域連携とボランティア活動に力を入れています。本校スポーツ科では、地域の老人会のグランドゴルフ大会補助や、小学校の体力テストの手伝いをするなど、スポーツを活かして地域に貢献しています。また、ボランティア部には、普通科の生徒が約50名所属し、保育園や社会福祉施設などでボランティア活動をしています。

毎年、間々田駅東口まつりでは、サッカー部やボランティア部の生徒が大勢ボランティアとして参加します。初めは何をすればよいか分からず戸惑っていた生徒達も、地域の方々に温かく接していただくうちに、次第に積極的に動けるようになり、感謝の言葉を自然と口にするようになります。そのようなとき、小南生が地域の方々に見守られ、支えられて育っていることを実感することができます。

